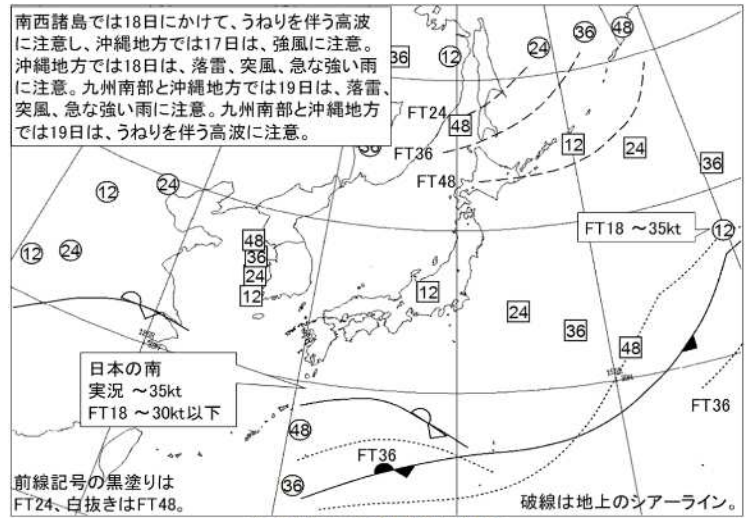


1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5820~5880mのリッジが黄海から日本海にある。黄海の高気圧がほとんど停滞。日本海の高気圧が東へ移動。オホーツク海の高気圧が東南東へ移動。日本付近は広く晴れて昇温し、東~西日本では真夏日の所がある。オホーツク海から北海道を通り日本海にかけて下層雲に覆われている。高気圧の縁辺の吹送距離、吹続時間の長い東寄りの強い風の影響で、南西諸島では波の高い所がある。
- ② 500hPa 5820m以下で-6℃以下の寒気を伴う南西諸島付近の寒冷渦がほとんど停滞。
- ③ 日本のはるか東の前線を伴う低気圧が北東進。前線は、日本のはるか東から小笠原近海を通り日本の南へのびている。
- ④ アムール川下流付近の低気圧が東南東進。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①のオホーツク海の高気圧は18日夜にかけて日本のはるか東へ移動し、1項①の日本海の高気圧は日本の東へ移動する。1項①の黄海の高気圧は、19日朝にかけて北へ移動する。高気圧縁辺の吹送距離、吹続時間の長い東寄りの強い風の影響で、うねりを伴い波が高くなる所がある。南西諸島では18日にかけて、うねりを伴う高波に注意し、沖縄地方では17日は、強風に注意。晴れて地上で昇温し、18日にかけて北~西日本では真夏日となる所がある。熱中症などの健康管理に留意。18日夜までに、1項②の南西諸島付近の寒冷渦対応の低気圧が発生し北上、上空に寒気が広がる。1項③の低気圧は日本のはるか東を東北東進し、18日夜には前線が日本の東で不明瞭化し、18日夜にかけて日本の南をゆっくり北上する。前線や低気圧に向かう850hPa 相当温位 345K以上の下層暖湿気や上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となる所がある。沖縄地方では18日は、落雷、突風、急な強い雨に注意。1項④の低気圧は19日朝にかけてカムチャツカ半島付近へ進み、低気圧付近からシアーラインがのびて、18~19日にかけて北海道付近を通過し、降水域が広がる。
- ② 19日は、2項①の南西諸島付近の低気圧が北上し、奄美地方付近へ進み、2項①の日本の南の前線は、本州の南海上へゆっくり北上する。前線や低気圧に向かう下層暖湿気と上空の寒気の影響で、大気の状態が不安定となる所がある。九州南部と沖縄地方では19日は、落雷、突風、急な強い雨に注意。低気圧周辺での風の強まりの影響で、波が高くなる所がある。九州南部と沖縄地方では19日は、うねりを伴う高波に注意。19日も引き続き、高気圧に覆われて地上が昇温し、北~西日本では真夏日となる所がある。熱中症などの健康管理に留意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量的予想や降水分布はMSMやLFMも参考。2項②の日本の南の前線の勢力や位置の予想には不確実性があることに留意。

- 4. 防災関連事項【量的予報等】** ① 雨量(18時からの24時間) : 多い所(100mm以上)はない。② 波浪(明日まで) : 奄美・沖縄3m。③ 高潮(明日まで) : 大潮の時期。西日本では注意報基準を超過する所がある。
- 5. 全般気象情報発表の有無** 発表の予定はない。